

com. de
みぬま No.1

発行日 2008年8月23日
発行者 みぬまで暮らす会(準備会)
住 所 さいたま市見沼区蓮沼782-5
NPO法人・くらしとお金の学校内
連絡先 (FAX) 048-687-6277
E-mail jimukyoku@kurakane.org

この町で、この家で、暮らし続けたい！

そんな思いの人たちが集まって、8月2日、武蔵浦和周辺の人びとで、「この町で暮らす会・武蔵浦和」が発足、活動が始まりました。見沼区で暮らし続けることを決めた私たち4人も、「自ら動き出さなければ何も変わらない」と、グループ名を「みぬまで暮らす会(準備会)」と決め、呼びかけを始めました。

歳をとっても、障害をもっている、ここで、暮らし続けたい！

そんな思いを叶えるために必要なのは、近くで暮らす人同士の、助け合う心、支え合う人の手です。まず、お互い顔の見える関係になるところから始めませんか？ この見沼区で、最後まで暮らし続けるためには、どんな不安があり、何が必要なのか？ どんな仕組みを作っていたら良いのか？ 知恵を出し合いたいのです。

まず、「地域の茶の間」で出会いませんか？

そこで、埼玉県の補助金(シラコバト長寿社会福祉基金)を受けて、「多世代が集う地域の茶の間…ランチを楽しみながら、おしゃべりをする集い」をすることになりました。高齢の人、障害のある人、子育て中の人、学生さん、リタイア後でヒマな人、ひきこもりから脱出したい人、だれでも参加できます。いきなり参加、様子見参加も大歓迎です。(詳細は4頁を見てください)

私たちの町に、気軽に頼れる施設をつくりたい！

また、私たち4人は、「先人の智慧に習え！」とばかり、評判の良い地域密着型の施設見学を始めました。これまで2ヶ所見学しましたが、いずれも地域にとけ込み、地域で暮らす人たちから頼りにされている施設でした。「こんな場所ができたらいいな、いや、つくらなければ」と、思いを新たにしたところでした。

見沼区で暮らす人、この指とまれ！



みぬまで暮らす会(準備会) 発起人：江野本啓子・嘉成勝子・田口秀之助・長沼和子

NPO法人ぬくもり福祉会 たんぽぽ（飯能市）訪問！



建物は木製の外廊下でぐるりとつながっている。

キッカケは22年前(1986年)、公民館の女性講座から始まったという。1994年には「ぬくもりサービスたんぽぽ」を設立、家事援助・介護・保育・配食・移送サービスを開始。1999年に特定非営利活動法人の認証を受ける。2000年、介護保険制度の開始から、デイサービス・居宅介護支援・訪問介護を、続いて障害者支援費事業、グループホーム、訪問看護と事業を広げ、福祉有償運送許可も取得、現在は飯能市から、飯能市障害者就労支援センター、飯能市地域包括支援センターの事業を受託している。

会長の桑山和子さんと初めてお会いしたのは、3月「共助の仕組みづくり」シンポ(主催:県福祉部介護保険課)。パネラーの一人だった。「福祉もボランティアだけでは続けられない。適正な報酬も必要。」と発言された。配布資料に掲載されていた「協力会員の有資格・研修過程修了者一覧」を見て驚いた。人材を自前で調達できるほど多種多様な資格者を抱えている。ヘルパーとしてパートで入ってきた人を意欲に応じて育て、新しい事業部門の責任者に据えていく。人の循環が制度として確立されているのだ。民間の高齢者施設で出会ったケアマネやヘルパーさんは仕事に追われ、次に訪問した時には辞めていたことも多い。どこの施設もヘルパー不足が恒常的。では、「たんぽぽ」はどこが違う？



裁縫クラブの面々が黙々と針を運ぶ。(デイサービス)

22年前、地域福祉の「理念」を掲げ、賛同者を巻き込みながら、たゆまず活動してきた実績が、スタッフ全員のプライドになっているからだと思った。(長沼和子)



代表・桑山さん(中央)とケアマネ・牛尼さん(左)

恐るべき女性パワー！

飯能市の山の斜面を切り開いて作った施設です。昭和61年に公民館女性講座受講者の有志が「女性問題研究会たんぽぽ」を結成したのが始まりとのこと。平成6年に「ぬくもりサービスたんぽぽ」開設、家事援助、介護、保育、配食、移送サービスを始め、平成11年に受けたNPO法人の認証は、埼玉県第1号だということでした。

平成12年に介護保険法が施行されると、通所介護施設、訪問介護、居宅介護支援を矢つぎ早に開設。その後もグループホーム、飯能市在宅介護支援センター、通所介護施設、ファミリーサポートセンター、訪問介護ステーション、福祉有償運送許可、障害者就労支援センター、飯能市包括支援センターなど拡大を続けています。

またスタッフ(173名)、ケアマネージャー、介護福祉士、看護師、保健師、理学療法士、ヘルパー等、全員が何らかの資格を有しています。多くの市民を巻き込んで、人材を確保し、資格を取るための講習には、援助しているそうです。福祉の人材養成機関になっています。

ほとんどが女性です。恐るべき女性パワー。会長桑山さん、よどみなく情熱をもってお話してください。どこからこのようなエネルギーが出るのでしょうか。うーん！(田口秀之助)



ぐるーぷ藤・一番館（藤沢市）を見学して

NPO法人が市民ファンドで造った高齢者専用賃貸住宅。それも湘南の高級住宅地藤沢に。「どんな住宅なの？」というより、「どんな人たちが造ったの？」と、興味津々で見学会に参加した。

応対してくれたのは、カーリーヘアーのおしゃれな女性。理事長の鷲尾公子さん。説明を聞いて、「やっぱりな」と思う。一朝一夕にできたわけではない。92年に、生活クラブ生協の仲間5人で呼びかけて、ワーカーズコレクティブ藤を設立。市内で訪問介護や通所介護事業を始めたのがスタート。15人だったメンバーは現在は150人に。スタート時のメンバーのうち10人が今も残っている。「やめないのが自慢だ」と鷲尾さん。取り組みが実に丁寧だ。お話のなかにアカウンタビリティという言葉が何回も出てきたのも印象的だった。

「いずれは終の棲家を」の構想は10年前、夢を語ることから始めた。鷲尾さん流に言うと「粉を撒き続けた」。でも、誰でもいいというわけではない。理念を大事にしているからだ。メンバーになるときは出資金2万円を抛出する。「もっと安く」の意見はあったが、「覚悟金だ、と言ってこれだけは譲らなかった」と鷲尾さん。思いが溢れるように、言葉がよどみなく出てくる。この熱い思いが人を動かし、道を開いてきたのだろう。

「みぬまで暮らす会」は、まだ助走。「粉撒き」もこれからだ。この見沼で最期まで自分らしく暮らしたいと思う人たちとつながり、寄り添いながら、居場所をつくり、やがては終の棲家を…なんて、夢を膨らませながら帰ってきた。



トイレの真ん中に支援棒が。
(1階 デイサービス)

デイハウス・藤の花にも立ち寄りました

「ぐるーぷ藤・一番館」は、3・4階に高専賃21室。2階に精神障害者グループホーム6室、訪問看護ステーション、小規模多機能型居宅介護の宿泊施設5室。1階にデイサービス用の和室と入浴施設、幼児教室と、地域のかげこみ寺として子育てから高齢者まであらゆる相談に応じる「地域総合相談窓口」と事務局、地域に開かれたすてきなレストランもありました。5人で始めて16年間で、これだけ立派な施設(と土地)を所有するまでになるなんて、もう、びっくり！さらに二番館と三番館を建てる計画もあるそうです。



レストラン「オハナ」のランチ。
800円。手作りの食器が温かい。



<デイハウス・藤の花>

帰りに「デイハウス・藤の花」も外廻りだけですが、見学してきました。辻堂の高級住宅地の奥にある、花が咲き乱れる広い庭(300坪)の落ち着いた民家でした。道路からハーブの香りをかぎながら、庭の周囲を廻る緩やかなスロープを登っていくと、玄関につきます。庭には木陰にベンチもあって、涼しい風が吹いていました。他の施設で車椅子に拘束されて奇声をあげ続けていた人が、ここに移ってからは、認知症の周辺症状もすっかり納まり、落ち着いて日々を過ごしているとか…

そうだろうなあ、と思われる雰囲気でした。私は大きな施設より、こんな集いの家が欲しいな。

で、…これから??? … 大きな課題です。

(嘉成勝子)

みぬまで暮らす会（準備会）予定表

月 日(曜)	時 間	場 所	内 容
9月18日(木)		千葉県八街市	特養「風の村」見学
9月25日(木)	11:00～16:00	地域の茶の間	ランチとおしゃべり
10月 2日(木)	11:00～16:00	地域の茶の間	ランチとおしゃべり
10月16日(木)	11:00～16:00	地域の茶の間	ランチとおしゃべり
10月18日(土)	13:30～15:30	生涯学習総合センター 7F 講座室1・3	講座「市民の中に共助のしくみが誕生する」 講師:上田 寧さん (この町で暮らす会・事務局長)
10月25日(土)	13:30～15:30	生涯学習総合センター 7F 講座室1・3	講座「地域のニーズに合わせて介護・福祉サービスを提供」 講師:桑山和子さん (NPO法人ぬくもり福祉会たんぼぼ・代表)
11月 6日(木)	11:00～16:00	地域の茶の間	ランチとお話会 ゲスト:小川文子さん (地域包括支援センター・ケアマネージャー)
11月 8日(土)	13:30～15:30	生涯学習総合センター 7F 講座室1・3	講座「自宅をデイサービス事業所に！」 講師:藤田英明さん (株式会社 フジタエージェンシー・代表)
11月15日(土)	13:30～15:30	生涯学習総合センター 7F 講座室1・3	講座「長年、介護・福祉行政に携わって」 講師:館谷昌宏さん (居宅介護事業所ものき・ケアマネージャー)
11月20日(木)	11:00～16:00	地域の茶の間	ランチとお話会 ゲスト:上田 寧さん (この町で暮らす会・事務局長)
11月22日(土)	13:30～15:30	生涯学習総合センター 7F 講座室1・3	講座「最後まで自宅で暮らす仕組は自分たちの手で」講師:嘉成勝子さん (おもとくらぶ／高齢期を支え合う仲間の会・代表)
12月 4日(木)	11:00～16:00	地域の茶の間	ランチとお話会 ゲスト:長澤隆司さん (ふるさと見沼の緑を守り育てる会)
2009年			
1月15日(木)	11:00～16:00	地域の茶の間	ランチとお話会
2月 5日(木)	11:00～16:00	地域の茶の間	ランチとお話会
2月19日(木)	11:00～16:00	地域の茶の間	ランチとお話会

* 生涯学習センターで行われる講演会は、参加費無料。(生涯学習センター市民活動支援事業の補助金事業)

● 申込方法 往復ハガキ又はEメールで、9月26日までに申し込み下さい。(応募者多数の場合は抽選)

講座名(老後を安心して暮らす方法)・郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・電話番号をご記入下さい。

● 申込先 〒330-0854 さいたま市大宮区桜木町 1-10-18 シーノ大宮センタープラザ7階 生涯学習センター

Eメール(件名に講座名を記入): shogai-gakushu-sogo@city. saitama. lg.

* 地域の茶の間のランチとお話会は、参加費500円(ランチ代)。(埼玉県シラコバト長寿社会福祉基金事業)

● 申込方法 FAX(048-687-6277)でお申し込み下さい。会場の地図をお送りします。